

教科・学科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2	学年	2
使用教科書	地理総合 高等地図帳	発行者の番号・略称	183 第一 130 二宮	教科書の番号		地総 706 地図 704	
指導者名		副教材等	CONNECT地理総合(第一学習社)、地理総合ノート(第一学習社)				

1 学習の到達目標

地理学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために、社会的諸事象の地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価の対象		
				知・技	思・判・表	主体的
4	地図や地理情報システムと現代世界 地球上の位置 世界の時差 世界地図の見方・使い方 地球上の世界と地図	目的地への行き方 地球上の位置 世界の時差 世界地図の見方・使い方 地図から読み取る情報 デジタル化された地図 地理情報システムの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解する。 ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたこと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、科書掲載の時差の計算のワークに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。 ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。 ・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
6	国家の結びつきとグローバル化する社会	国家の領域と国境 日本の領域とさまざまな領土問題 国家をこえた結びつき 交通機関の発達と縮小する世界	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化してきたかを時系列で理解する。 ・さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
7	国際理解と国際協力 生活・文化の多様性と国際理解	世界の生活・文化を写真でつかもう 人々の生活に彩りを与える気候	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。 ・世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえる。 ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
9		「衣」から見る世界 「食」から見る世界 「住」から見る世界	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の特色ある生活文化にはどのようなものがあるか関心を持ち、地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
10	地球的課題と国際協力	持続可能な開発目標(SDGs) 地球的課題の地理的な側面	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
11	地球的課題と国際協力	技術革新と持続可能な産業化 限りある資源 エネルギー問題 都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なライフスタイルの実現には、さまざまな認証制度を活用した消費者としての行動が重要であることを理解し、身近な認証制度を調べ、まとめることができる。 ・資源・エネルギー問題について、資源の限界性と偏在性を理解し、原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化と新エネルギー開発の必要性について考察する。 ・居住・都市問題について発展途上国ではスラム、先進国ではインナーシティ問題などが現れていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
12	現役世代と将来世代のための地球	地球温暖化問題 陸地の環境問題 海洋の環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。 			
1	持続可能な地域づくりと私たち	地球規模で見る地形の姿と自然災害 人々の暮らしを取りまく自然環境 変動帯の自然と防災 湿潤地域の自然と防災 私たちができる災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・世界を大きく変動帯と安定大陸で分類し、多くの自然災害は変動帯で起きていることを理解する。 ・防災や減災のために地形図を活用するため、地形図の読図について理解する。 ・降水強度の大きい湿潤な日本の気候環境を把握し、地形に応じた防災・減災のあり方について理解を深める。 ・地形の状態に応じて暮らしてきた日本の村落・都市立地を理解し、地形変化による生活環境の変化が人々の暮らしにどのような影響をもたらしたか考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
3		学習のまとめ	これまでに学んだことや考えたことについて確認する。			

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点と配点(年間)

知識・技能	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	40/100
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。	40/100
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。	20/100

教科・学科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2単位	学年	3
使用教科書	新歴史総合	発行者の番号・略称	183 第一	教科書の番号	歴総 711		
指導者名		副教材等	新歴史総合ノート(第一)、ダイアログ歴史総合(第一)				

1 学習の到達目標

・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価の対象		
				知・技	思・判・表	主体的
4	第1部 歴史の扉	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
5	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち	・18世紀のアジアの繁栄 ・工業化の進展と国民国家の建設	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。			
6	第2部 近現代の世界と日本 [期末考査]	・結び付く世界と日本の開国 ・帝国主義とアジア諸国の変容	・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
7	特別編成授業		・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
8						
9	第2部 近現代の世界と日本 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目し、主題を設定し、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
10	[中間考査]					
11	第2部 近現代の世界と日本 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち [期末考査]	・経済危機と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦後の世界と日本	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
12	特別編成授業		・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			
1	第2部 近現代の世界と日本 第3章 グローバル化と私たち	・冷戦と脱植民地化 ・第三世界の台頭	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
2		・世界秩序の変容と日本				
3	[期末考査]					

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点と配点(年間)

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	40/100
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	40/100
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。	20/100

教科・学科	公民	科目	公共	単位数	2	学年	1
使用教科書	公共	発行者の番号・略称	7 実教	教科書の番号	公共704		
指導者名		副教材等	クローズアップ公共2023(第一学習社)、公共演習ノート(実教出版)				

1 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価の対象		
				知・技	思・判・表	主体的
4	第1部 公共の扉	【倫理】 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 他者とともに生きる 第4章 民主社会の倫理	青年期の特徴について、心理学視点から自分の置かれている状況を理解する。他者と関わる中で、個性がどう形成されるか、欲求とどう向き合うか、考える。現代社会の雇用の現状と課題を把握し、どのように社会参加をするか、考える。身の回りの物と関連づけながら、日本の生活文化や伝統文化について理解する。世界の様々な宗教を理解し、宗教の持つ意味について考える。理想的な人間の生き方、科学的な思考、自由などについて、哲学者の考えを知る。個人の幸福と社会全体の幸福の関係性や、公正な社会について考える。人間の尊厳と平等、自由と責任について考える。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
5		[中間考査]				
6	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち	【政治】 第5章 民主国家における基本原理 1現代の民主政治と日本国憲法	社会における対立がどう調整されているのかを知る。民主政治の基本原則やその仕組みと課題を知る。 日本国憲法の成立背景や大日本帝国憲法との相違を考える。憲法の三大基本原理を知る。憲法で保障されている多様な人権について理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
7		特別編成授業	第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加	憲法9条と自衛隊、防衛問題などから、平和主義について考える。国会・内閣・裁判所の仕組みと特徴について理解する。マスメディアと世論の関わりについて考える。現代日本において国民の政治参加がどのように行われているかを理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査
9	第3部 現代の経済社会と国民生活	【経済】 2現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会	経済の基礎的な仕組みと概念について理解する。景気・物価変動の原因を理解する。経済をはかる「ものさし」について理解する。財政政策や金融政策とはどのようなものかを理解する。日本経済が歴史的にどのようにして成長してきたのかを理解する。企業の役割について理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
10		[中間考査]				
11	第2章 日本経済の特質と国民生活	第2章 日本経済の特質と国民生活	戦後日本がどのように経済成長を実現してきたのかについて理解する。人口減少に対し、どのような対策がとられているのかについて理解する。日本の中小企業がどのような問題に直面しているのかについて理解する。日本の農業をとりまく問題や、消費者問題について理解する。労働者に認められている権利を知る。今日の労働環境や労働問題について理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		[期末考査]				
12	特別編成授業	持続可能な社会を目指して	持続可能な社会の実現のために人類が直面している課題を知る。どのようにして対応していけばよいかについて考える。			
1	第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【国際】 3国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向と課題 第2章 国際経済の動向と課題	第二次世界大戦後、国際社会がどう展開してきたのかを理解する。世界平和を実現するための国際連合という組織の仕組みを知る。核兵器などの大量破壊兵器の現状について理解する。国際協力の現状を理解し、日本に期待されている役割を考える。グローバル化に伴い、モノや金がどのように世界を行き来しているかを知る。地域的な経済統合、自由貿易協定について、現在の状況を知る。発展途上国のために日本ができることを考える。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
2		[期末考査]				
3		学習のまとめ	これまでに学んだことや考えたことについて確認する。			

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点と配点(年間)

知識・技能	現代の社会における重要な問題を探求するに際し、基本的な内容を理解し、有用な情報を適切に収集・選択し、効果的に活用することができたかどうか。	40/100
思考・判断・表現	現代の社会における重要な問題から課題を見だし、社会的事象の本質を多面的・多角的に考察し、社会の変化や多様な考え方を踏まえ公正に判断し、表現できたかどうか。	40/100
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会における重要な問題に対する関心を高め、意欲的に学習すると共に、社会的事象を考察する態度や、平和で民主的な社会の実現のために社会に参加・協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての自覚を深めようとしていたかどうか。	20/100